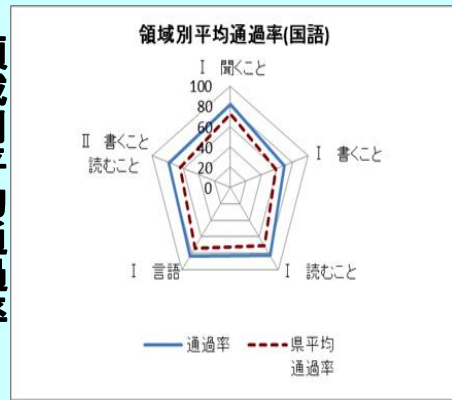
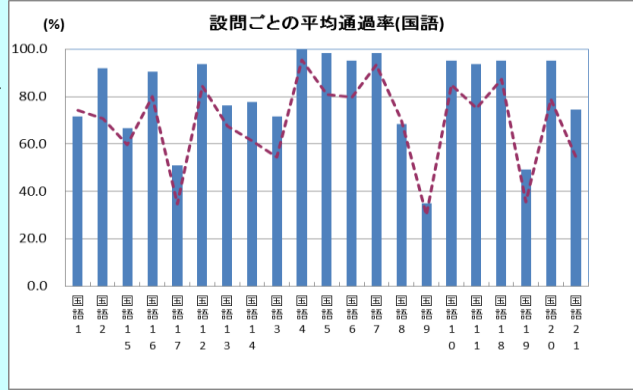


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 80.4%, 県 69.2%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

HR学習と朝学習や学力定着週間などの取組を1年間を通じて行うことにより、生徒の学習に対する意識や意欲が向上してきた。また、家庭学習ノートや西中検定などで繰り返し行うことで、「故事成語」(100%)、「表現の技法」(98.4%)、「文語のきまり」(98.4%)、「主語・述語の関係」(95.2%)などの伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項について、知識の定着がみられた。タイプIIでは、情報の取り出し・整理の問題の通過率が95.2%(五1, 五3)と前年度より上がっている。しかしながら、要旨の把握での問題が49.2%と低く、継続して要旨をとらえたり、条件を意識したりする指導が必要である。

また、叙述の仕方の確認(述語に対応した主語を補う問い)については課題が残った。

重点課題

- 【課題1】叙述の仕方や、文脈に即した語句(漢字)を当てはめる語彙力
 タイプI 四3 叙述の仕方の確認の問題の通過率が50.8%
 三1② 小3の漢字の書き「始動」の通過率が34.9%
 問題には書かれていない主語を探したり、同音異義語の中で文脈に即した漢字を考えたりすることができていない。
- 【課題2】
 タイプII 五2 要旨の把握の問題の通過率が49.2%
 文章の要旨は捉えているが、条件を満たして答えることができていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

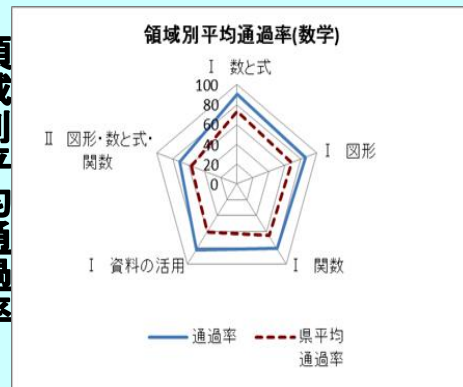
- 【課題1】
- 主述の一致した読みやすい文章の叙述の仕方について、書いた文章を推敲し合う場面を設定し、適切に表現できるように身につけさせていく。
 - また、西中検定や新聞等も活用したり、学校図書館司書と連携したりして、読むことと書くことの両面で、語彙力を増やす活動を取り入れていく。
- 【課題2】
- 説明文を読む際に、論理の構成や接続詞、内容などに着目して要旨を把握したり、要約したりする活動を仕組んでいく。また、「具体例を挙げて」「根拠を示して」「引用して」などの条件を設けた書くことの指導を行う。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			1年「基礎・基本」 類似問題	H29「基礎・基本」 2年	1年・2年 CRT	1年 2年 H29「基礎・基本」 H29「全国」	
目標値			55%	60%	65%	60% 65%	
実施後数値							

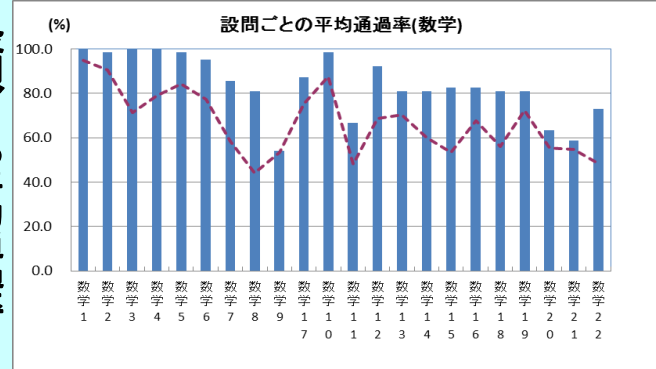
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			1年「基礎・基本」 類似問題	H29「基礎・基本」 2年	1年・2年 CRT	1年 2年 H29「基礎・基本」 H29「全国」	
目標値			55%	60%	65%	60% 65%	
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 83.7%, 県 66.9%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

本学年の生徒は学習を苦手とする生徒の割合が比較的高く、習熟度別指導のコース分けにおいても40%を超える生徒が基礎コースである。分かりたい意識は高く、落ち着いて授業を受けられる一方、受身的でわからない問題と早期に判断し粘り強く学習することができなかった。そこで「学力定着週間」を設けてグループ学習や個別指導を行い「やればできる」ことを繰り返し体験させたり、授業においても解き方を説明させることで定着を図ったりした。その結果、問題に前向きに取り組み最後まであきらめずに問題に向き合うことができた。(通過率83.7%, 無解答0%)

課題としては、長い文章を読んで、答えるべきことや情報を読み取り、何を根拠に考え、判断するために既習事項の何を用いるのかなど結びつけて解決することに課題が残った。

重点課題

【課題1】文字式の読み取ること

タイプI【4】

文章中の「割合」という言葉にのみ注目し、割合(分数)で捉えている生徒が多く、全体の数量関係から式を作ってより具体的な根拠にもとづいて考えることができていない。(54.0%)

【課題2】事象の数学的な解釈をすること

タイプII【12】(1)

x, y の関係式を根拠に、正しい x, y の関係を判断することができない。(58.7%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】

- 思考を整理したり、関係を整理したりする際に、式に表すことが簡潔で一般化されたものとして有効であることをあらゆる場面を通して実感させるような授業を行っていく。また、単に式に表すだけでなく、式を読むことも意識的に行うことで定着を図る。

【課題2】

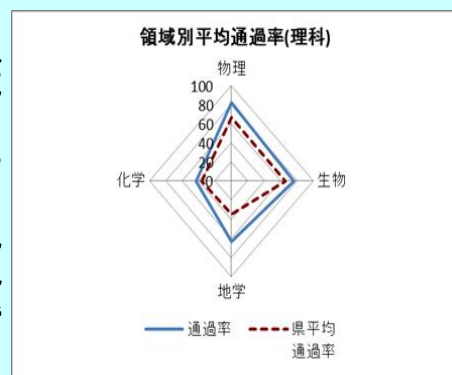
- 比例、反比例の関係を判断するために根拠をあげて説明させていく。その際、数学的な根拠を明らかにし、数学としての簡潔な表現方法で説明できるような場면을仕組んでいく。また、実際にどんな関係が、比例、反比例なのか、その判別方法にのみ終始するのではなく、経験の中の知識と結びつける作業を意識して行い、活用できる知識にしていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			1年「基礎・基本」 類似問題	H29「基礎・基本」 2年	1年・2年 CRT	1年 2年 H29「基礎・基本」 H29「全国」	
目標値			60%	65%	65%	65% 65%	
実施後数値							

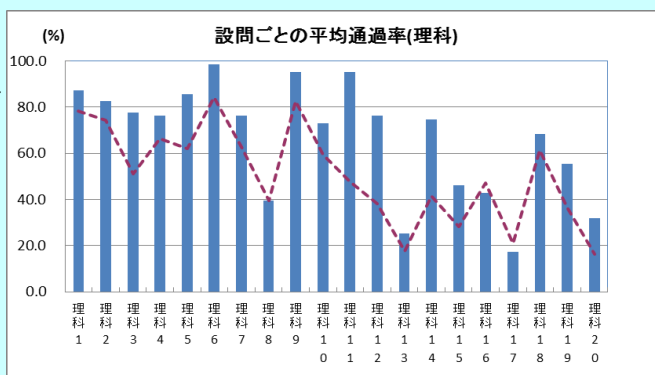
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			1年「基礎・基本」 類似問題	H29「基礎・基本」 2年	1年・2年 CRT	1年 2年 H29「基礎・基本」 H29「全国」	
目標値			60%	65%	65%	65% 65%	
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 66.3 %, 県 50.8 %)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

・理科の結果において、タイプⅠは72.5%、タイプⅡは56.9%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容については、概ね定着が図られていると考えられるが、科学的思考を用いて活用する内容について課題が見られた。しかし、昨年度より観察・実験の考察を行う際に自分のことばで表現する活動を重視する取組を行っており、昨年度の結果(タイプⅠ 55.1%・タイプⅡ 53.9%)や5月に行ったプレテスト(52.7%)の結果より、通過率が上昇してきている。

重点課題

【課題1】 砂岩と判断する根拠を問う問題

タイプⅡ 5 (3)

砂岩と判断する根拠に構成する粒の色を含めて解答する生徒が多かった。(25.4%)

【課題2】 メスシリンダーを用いた固体の体積のはかり方

タイプⅠ 7 (2)

問題の文章をしっかりと読んでおらず、もとの水の体積を引かずじに解答する生徒がほとんどであった。(17.5%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

・個人思考の上で協議を深め、表現させる活動を多く仕組んでいく。その際、単に実験・観察するだけではなく、仮説をたて、その仮説を立証するためにどのような実験・観察をすればいいのか計画・立案させ、既習事項に基づいて、結果の見通しがもてるように行っていく。

【課題2】

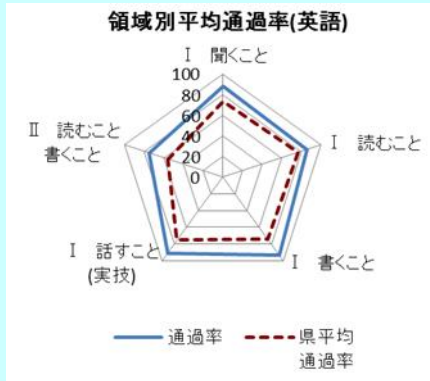
・設問が求めている内容を確実に読み取り、それを表現していく活動を取り入れていく。
・定期テスト等の設問を文章をしっかりと読んでいかないと解くことができないようなものを取り入れるなど工夫していく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			1年「基礎・基本」 類似問題	H29「基礎・基本」 2年	1年・2年 CRT	H29「基礎・基本」 1年生	
目標値			40%	50%	50%	60.0%	
実施後数値							

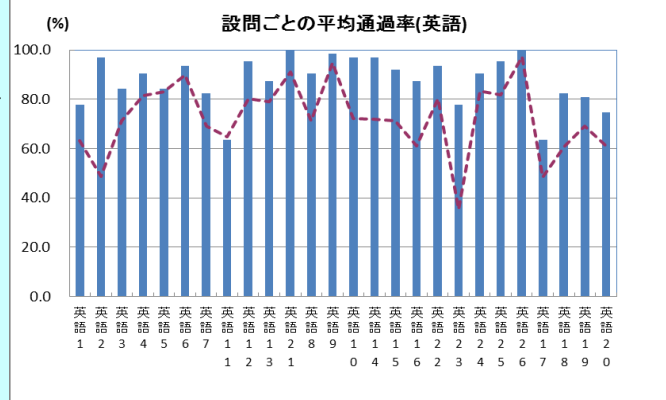
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			1年「基礎・基本」 類似問題	H29「基礎・基本」 2年	1年・2年 CRT	H29「基礎・基本」 1年生	
目標値			40%	50%	50%	65.0%	
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 87.5 %, 県 72.4 %)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

本学年の生徒が1年次に行った事前調査結果より、必要な情報を読み取り、相手に適切に応じる力、意味のつながりを意識してまとまりのある英文を書く力に課題があることが明らかになった。そこで、帯学習として授業の中で、与えられたテーマについてペアで会話する活動や、教科書の本文に関して読み取った情報に関して、他者に新しく質問を考えるなどの指導を継続して行った。その結果、書くこと、話すことへの意欲が高まり、事実を述べるだけでなく、それに対しての自分の考えや感想を付け加えることができるようになり、自分の考えを表現しようとする姿勢に繋がっていると考えられる。

本年度の結果において、タイプIは89.6%、タイプIIは75.4%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な学習内容については概ね定着していると考えられるが、学習した知識・技能を活用し、表現する力や図や表から情報を読み取り、それらを関連させて考える力にはまだまだ課題があることが分かる。

重点課題

【課題1】 根拠となる英文の読み取り

タイプII 【11】 (1)

表から情報を読み取り、それを本文で読み取った内容と関連させて適切に判断し、考える力が定着していない。(通過率 63.5%)

【課題2】 適切な英文を用いた会話文の組み立て

疑問詞が定着していないことに加え、対話の流れから、適切に be 動詞と一般動詞を選択することができていない。(通過率 63.5%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

- ・ 修学旅行などで、図や表を用いて、相手に説得力のあるプレゼンをする活動などを取り入れ、課題の設定に工夫を行う。本文読解では、一問一答形式のようなものではなく、知識や情報を複合的に結びつけて考えさせる発問を行っていく。

【課題2】

- ・ 5W1Hの定着のために、本文読解の際に、質問に答えるだけでなく、質問を作成する活動を定期的に行っていく。場面を設定し、既習事項を用いて場面にあったやりとりを考えさせる表現活動を増やしていく。

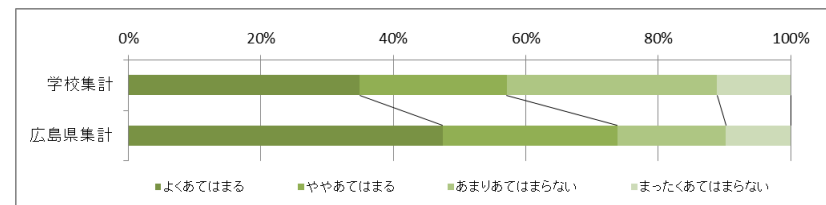
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			1年「基礎・基本」 類似問題	H29「基礎・基本」 2年	1年・2年 CRT	H29「基礎・基本」 1年生	
目標値			65%	70%	65%	65%	
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			1年「基礎・基本」 類似問題	H29「基礎・基本」 2年	1年・2年 CRT	H29「基礎・基本」 1年生	
目標値			65%	70%	65%	68%	
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

（1）生活・学習

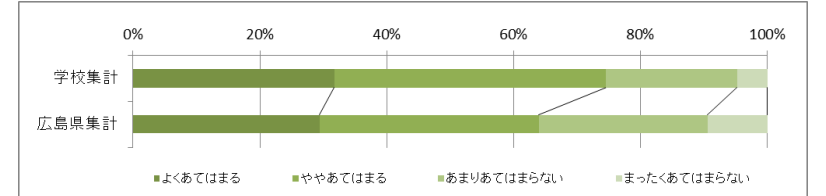
本を読むのが好きです。



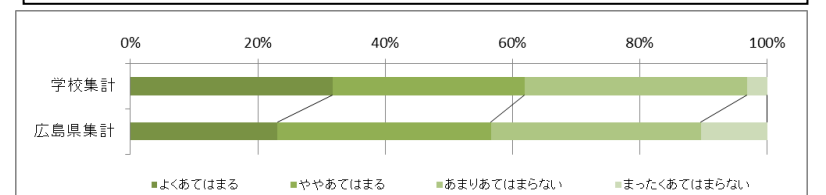
生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
○「本を読むのが好きです。」と肯定的に解答した生徒は、57.1%（県平均73.9%）であった。	○図書委員会の取組と連携しながら、図書室に行って本と出会わせる（みんどく）を行ったり、ビブリアバトルをしたりして、本に親しみ、語り合う活動を取り入れていく。	2	75%	生徒アンケート	12月		

（2）教科

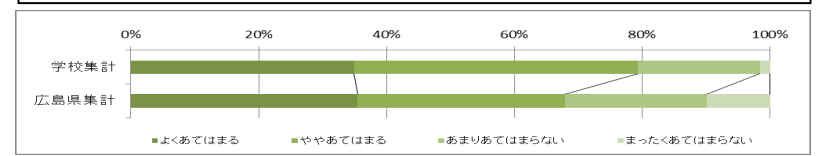
国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



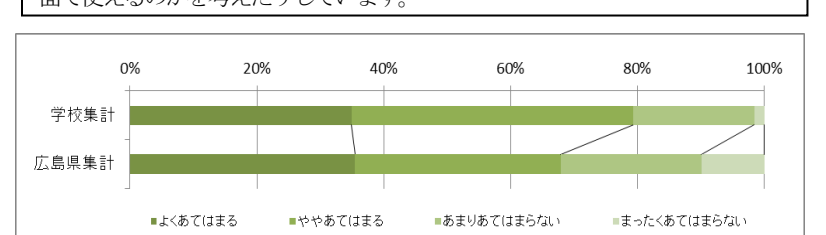
数学の授業では、とき方や考え方を話し合うときに理由を上げて説明しています。



観察や実験の結果をノートやグラフ、表などに記録したり記述したりする方法について学んでいます。



英語の授業で学んだことを、普段の生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのかを考えていたりしています。



	生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	○「国語の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのかを考えていたりしています。」を肯定的に答えた生徒が74.6%（県平均64.0%）であった。	○理解したことや考えたことを書いたり話したりすることと、それを校内外へ発信することに挑戦させる。また、学んだことをポートフォリオにまとめて振り返らせる。	2	80%	生徒アンケート	12月		
数学	○解き方や考え方を話し合う場面で、理由をあげて説明している生徒の割合は61.9%（県平均56.6%）であった。	○ペアやグループ活動の中で、教え合いをするときなど「なぜ、そうなのか」根拠を加えて、説明する時間を積極的に確保する。途中の式や考え方も記述する問題にも取り組む。	2	70%	生徒アンケート	12月		
理科	○観察・実験の結果をノートやグラフ、表などに記録したり記述したりする方法について学んでいますと答えた生徒が71.4%（県平均72.8%）であった。	○観察・実験の結果をレポートにまとめ、考察する際に個人でじっくりと考える時間とグループで交流する時間を有効に活用していく。	2	75%	生徒アンケート	12月		
英語	○学んだことを普段の生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのかを考えている生徒の「よくあてはまる」と解答した生徒が34.9%（県平均35.5%）であった。	○修学旅行で、英語を使って実際に外国の方へインタビュー、海田のPRなどを通して、コミュニケーションを取り、交流を深めていく。その中で、授業で学んだ表現が実際に通用するという経験をさせていく。	2	40%	生徒アンケート	12月		